



大牟田市の全市立小・中・特別支援学校は
全校、ユネスコスクールに加盟しています！

「世界遺産学習全国サミット」でアピール！

11月17日(土)に、宗像市において、「第9回世界遺産学習全国サミット」が、開催されました。全国から多くの方々が参加され、世界遺産についての研修が行われました。大牟田市からは、駿馬小学校6年生が、「ふるさと自慢！全国子どもサミット」に参加して世界遺産学習の成果等を披露し、全国の関係者に大牟田の取組を紹介しました。このサミットには、宗像市をはじめ、奈良市、姫路市、平泉町の子どもたちも参加し、意見交流を行いました。

世界遺産を通じた今後の交流に期待しています。



中国の先生方との交流

11月上旬、ACCU(ユネスコアジア文化センター)の事業で、中国の先生方が大牟田にお見えになり、明治小学校、宮原中学校、三池高等学校を訪問されました。教育委員会でのESDについての説明の後、明治小、宮原中では、日本の学校の様子について視察、意見交換をされました。駿馬小学校のボランティアガイドの案内も体験されました。訪問団の先生方は、「多面的に学校内の様子を視察できたことが参考になった」と話してありました。この訪問を契機に交流が始まることを期待します。



子どもたちとの給食

ユネスコスクール子どもサミット開催

本年度の子どもサミットは、以下の通り開催されます。是非ご参加ください。概略は下記の通りです。

【日時】平成31年1月12日(土) 開会 9:30 (リハーサル 8:40)

【会場】大牟田文化会館 小ホール

【内容】(実践発表) 大正小学校、白川小学校、駿馬小学校、天領小学校
宮原中学校、宮城県立多賀城高等学校

(合唱) 明治小学校・白光中学校

大牟田市立白川小学校の実践

第6学年「ジュニア民生委員・児童委員」を通して

白川小学校の6年生は、ジュニア民生委員・児童委員として、今年の5月に委嘱状交付式を行い、正式に活動を始めました。あいさつ運動では6年生の活気のあるあいさつの声が校内に響き渡りました。ペットボトルキャップ集めの活動では、生活に困っている外国の子どもたちのミルク約50杯分のキャップが集まりました。認知症SOSネットワーク模擬訓練では、地域の方と一緒に訓練に参加しました。

赤い羽根共同募金では、子どもたちの声かけのおかげで、たくさんの方に募金をしていただきました。学校の最高学年として、地域の一員として様々な場面で活躍しています。



大牟田市立大牟田特別支援学校の実践

交流及び共同学習(なかよし交流)を通して

大牟田特別支援学校では「交流及び共同学習」を通して、他の人と自分とのつながりを大切にしようとする態度や、自分の気持ちや考えを伝える力を育成しています。

本校小学部の児童は、天の原小学校5年生が考えて準備してくれた遊びで一緒に遊びました。グループに分かれて福笑い・魚釣り・ブラックボックス・トントン相撲をしました。

交流を重ねるごとに、児童たちは触れ合うことの喜びを味わうとともに、周囲の人たちとつながろうとする意欲を高めています。

これからも充実した交流を続けていきたいと思えます。

